

BAGGER CUSTOM

Buyer's Guide



Glowbal Works

東京都練馬区大泉学園1-5-8 1
TEL: 03-6904-6370
<https://www.instagram.com/growbalworks>



H-D 2013 FLHX

Custom Specification

ウインドシールド: 純正オプションブラック/ヘッドライト: LED/トリプル: MCバグー/フロントフェンダー: バッドダッド/フロントホイール: シニスター 23インチ/ハンドル: RSD/タンク: アレンネス/エアクリナー: スクリーンイーグル/マフラー: フリーダムパフォーマンス 25cm延長/リアサスペンション: ダーティーエア / バグーキット: バッドダッド/他

OWNER: Mr. SATO



- 1: MCバグーのベゼルキット、ネスのトリムリングを装着したLEDヘッドライト
- 2: ホイールはミニスターの23インチ。フレーム下部のチンスボはデバイス製だ
- 3: 流線型の要となるのがネスのストレッチタンク。ピンスのロゴもシンプルだ
- 4: 必要以上の華美さを演出せず、ステップボードはあえてストックを残す
- 5: シートはガンファイター。手頃なサイズ感のバグーキットはバッドダッド製を採用
- 6: マフラーはフリーダムパフォーマンス。バッグに合わせ、エキパイを25cm延長加工

バグーが持つベーシックな美しさを際立たせた1台

東京は練馬区にショップを構えるグローバルワークス。そのオープン日は2015年と比較的新しいが、代表の柿崎氏はハーレーの5つ星メカニックとも言えるマスターオブテクノロジーの称号を獲得。とはいえ数居の高いショップでは決してなく、ビギナーからベテランまで、乗り手の要望に合わせたカスタム製作には定評がある。こちらのストリートグライダーはやり過ぎ感の無いさりげなさにこだわってバグーカスタムを製作。

まさにシンプル・イズ・ベストという言葉が体現したマシンだ。主な構成パーツは、カウルに純正のオプションシールド、フロントホイールにシニスターの23インチ、タンクはネスのストレッチタンク、リアまわりにバッドダッドのバグーキットを採用、それらをバランス良くまとめあげている手腕に着目したい。また、ダーティーエアのエアサスを装備、コンピューターをスクリーミンイーグルのスーパーチェーンに換装することで快適かつハイパフォーマンスな走りをも実現させている。



TRIJYA

大阪府柏原市本郷5-4-18
TEL: 072-970-3110
<http://trijya.com>



H-D 2008 FLHR

Custom Specification

ナセル: ヘッドウィングス/ハンドル: トゥズサイクル/ヘッドライト: JW/Fフェンダー: TRIJYA/Fホイール: PM23"/Fフォーク: ネス/Fブレーキ: PM/Fディスク: PW/トリプル: TRIJYA/ガスタンク: TRIJYA/エアクリナー: TRIJYA/ステップボード: TRIJYA/ECM: サンダーマックス/マフラー: AKRAPOVIC/リアフェンダー: TRIJYA/パニアケース: Thunder Bike+TRIJYA/シート: TRIJYA/Rホイール: PM18"/Rショック: オーリンズ/ペイント: TRIJYA/他

OWNER: FUJIKAWA



- 1: トゥズサイクルのハンドルはツリーによりレイクされたフォークに合わせてセットされる
- 2: PMのビレットホイールとオリジナルのフロントフェンダー。キャリアもPMを装着
- 3: ヘッドライトはヘッドウィングスのナセルタイプ。タンクとのバランス感覚が実に絶妙
- 4: マフラーはヨーロッパ最大級のメーカーとして有名なアクラポヴィッチの一本
- 5: オリジナルのステップボードとダービーカバーでプライマリーサイドを魅せる
- 6: エッジの効いた独特なデザインのリア周り。まるで甲冑のようなデザインでもある

様式美すら感じる至極のユールスタイルバグー

ハーレー業界で長年のキャリアと確かな技術力を持つ「トライジャ」がデザイン及び製作したロードキングは、ユールスタイルを意識してカスタムされた独創的なフォルムが魅力的なマシン。ガソリンタンク、シート、前後フェンダー、ステップボードといった主要パーツはすべてトライジャのオリジナルとなっており、足回りはPMのホイールやディスクローターを装着。それらのパーツを全体のシルエットを考慮しながら



バランス良くセットアップ。レイクツリーもオリジナルを使用しているそして、このマシンの注目ポイントであるペイントワークもトライジャにより施され、もちろんデザインも行なっている。また、特筆すべきポイントは、フロントフェンダー、ガソリンタンク、サイドカバー、リアフェンダー、そしてパニアケースにまで打ち込まれたスタッズだ。大振りなスタッズがアクセントとなっており、ペイントとの絶妙なバランス感覚で、美しいヴィジュアルを生み出している。

違わなかったことやと思う。



バイクという不思議な縁で繋がった仲間たち

いとかんって勘違いが始まる。そこに生まれるんは、相手に対する束縛心とか、ライバル的な嫉妬なんかな。人間ってホンマにめんどくさい(笑) オレは常に受け身なんで、来るもの拒まず去る者追わず。それでも、オネエちゃんだけはちよつと追うみたいなの。これは、バイクに乗る上で重要なポイントちゃうかな? モテたいとか、カッコよく有りたいとかは、自分の向上心に繋がるからな。

逆にオレは、人が何しようが全く気にならんタイプなんで、どんなええバイクに乗ってようが、大会社の社長じゃろうが、何一つ相手に対して羨ましいって思ったことはない。オレの勝負する土俵は、そことは違うんで(笑) 付かず離れずが長くやって行く秘訣やろうけど、そこはワガママでもええんかなーって(笑) 味方が増えると敵も増えるのが世の定め。全員相手してる暇はないわ。ワガママ気ままなオレのことをホンマに理解してくれる、そんな人たちが近くにおたらええ。サードアイのチー兄や、トライジャのボス、あんくん工房のあんくんもそんな存在なんかも知れやんな(笑) 臨機応変ちゆうか、貰った想いの分だけ返す。そうやって長く続ける事こそが、特別な存在になれるって事やと思うから。



紀の川鮫

和歌山県和歌山市六十谷226-4 電話:073-461-0366 (木曜定休) ※お店を訪れる場合は事前に連絡いただけるとありがたいです。近隣の迷惑になる様なエンジンの空ぶかしや、予約無しの人混みでアホ無し来店などは控え、マナーを遵守しましょう!

プロフィール

ブログを書き始めては11年。ハーレーブログ村で他を圧倒しダントツトップを走り続け、ハーレー乗りが連日訪れるハーレーの聖地と呼ばれる和歌山県で紀の川鮫を運営する傍ら、【オッチャンハーレーのひとり言】というタイトルでブログを綴るカリスマブロガー

バイク繋がりの書



こんにちは。オッチャンharleyのひとり言ってブログを書いているヒデキです。今回からいっちょ前にコラムなんか書かせてもらいます(笑) 40をキッカケに、バイクに復活したオレ。最初は昔からのツレと2人で走るだけだったんが、それだけやったらおもしろくないで、写真でもネットにアップして、自己満足の世界に浸ろうと。そして、その頃流行り出したブログっちゅうものに、趣味から私生活から仕事まで、ありとあらゆるものをリアルで書き出した。もともと根っからの自分好き。人にどう見られようが気にしない。自分の考えがすべてで、ゴイングマイウェイ(笑) あまりにも言いたい事書いてるんで、おもしろいオッサンやと全国のバイク乗りからコメントがつくようになった。そらそうや、ブログなんか自分の日記であって、人の機嫌を取るために書くもんちゃうからな(笑) そやからオレのブログは、人を笑わせるための物と違い、自分自身が見て笑ける日記なんやな。ブログなんかバーチャルの世界やから、自分を大きくしたり嘘を書くんは簡単に出来る。それでも、メッキはすぐに剥がれるんで。それやったら自分の悪いところも含めて書いて方がおもしろいやろ。みんなに尊敬される人間ではなく、みんなに興味を持たれる存在でありたい。ブログを書き始めて11年。こんなに長くやってこれたのは、バーチャルとリアルがまったく違わなかったことやと思う。

最初に知り合ったんは、滋賀に住む同じ年のハーレーブロガー。しかし、こんな遠くの人間と繋がるって不思議なもんやなって思ったな。飲食店をやっていることもあり、そのハーレーブロガーが、オレの住んでる和歌山まで遊びに来るって。その頃は、滋賀県は北陸やと思ってたからな(笑) それから、それをブログにアップすると、それを見たバイクが類は友を呼ぶで、またやって来る。そうこうしてうち、気づいたら全国から有名なハーレー乗りも押し寄せる場所になつてしまった。「ハーレー乗りの聖地」って誰かが言うたけど、それはオレの力ではなく、やって来るバイクの値打ちで形成されて来たものやと思ってる。ただ、そうやって思われるんはブロガー冥利に尽きると思っけな(笑)



今日も説法を受ける信者がやって来る(笑)



人生、楽しんでナンボやぞ!

人たちは夢中になれ!!
大口徑!!



人生は一度きりだぜ!!

2018 TR CVO™ Milwaukee-Eight 34inch Custom Coming Soon!

J'S BAGGER CUSTOM PRODUCED BY JOBDESIGN Call 093-475-4454 SMT MACHINING WHEEL www.jobdesign.co.jp